

第3回全日本企業対抗ゴルフトーナメント個人戦
大会ルール
～ 全国決勝大会 ～

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会（JGA）ゴルフ規則2013及び大会ローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について競技委員会の裁定を最終とする。
3. 使用球についての規格及び規則
「公認球リストの条件・規則付I(C)1b」公認球リスト を採用する。
「公認球リストの条件・規則付I(C)1c」ワンボール条件は適用しない。
4. キャディとカート
各競技者はラウンド中に乗用カートへ乗車することができる。
（乗用カートを設置していないコースは除く。）
大会運営事務局とゴルフ場によって指定されたキャディ以外は使用できない。
違反があった各ホールに対し2打。ただし、1ラウンドにつき最高4打まで。
（違反のあった最初の2ホールに各2打の罰）。
5. ホールとホールの間での練習禁止
ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。
この条件の違反の罰は、次のホールに2打課せられ最終ホールにおいてはそのホールに2打課せられる。
（前半と後半のインターバル時での指定練習グリーンでのパッティング練習を除く）
6. 険悪な気象条件・日没などのため競技が短縮競技となった場合の順位決定
 - 全員が9ホールズを消化している場合→競技成立
 - 全員が9ホールズを消化していない場合→競技不成立
 - タイスコアの場合は、9Hの最終ホールからのカウントバックで勝敗を決める。
 - OUT、IN 両方からスタートした場合は、それぞれ平等に順位が与えられる。※ 短縮競技でもエントリーフィーやプレーフィーの減額は有りませんので
予めご了承くださいませ。

7. 第2の球をプレーする場合の処置

ルールに疑問のある場合、1ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について問題をもった場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーすることができる。第2の球を打つ行動を起こす前に競技者は規則により許されれば、その球でのスコアを採用したいと思う球をマーカーに告げておくこと。

どちらの球のスコアも同じであった場合を除き、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。

※ 第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員会の裁定をあおぐこと。

8. 空き時間の練習について

ハーフ終了時の空き時間において、練習グリーンでのパッティング練習は行っても構わない。

9. クラブに関しては、JGA附属規則Ⅱの4c(i)のペンデュラムテストプロトコル(R&A内規)の上限を超えるスプリング効果をもつクラブヘッド(いわゆる高反発クラブ)の使用を禁止する。

※「クラブフェースの溝に関連する新しい規則」については本大会では採用しない。

10. 距離計測やホールレイアウトの確認

プレーヤーは距離計測やホールレイアウトを確認する目的でGPS式、レーザー式、音声式の距離計測器やコースナビゲーションなどを使用することができる。

※ スタート説明時など、ラウンド前にマーカーの選手に機器の使用を教えてください。

(音声で伝えるシステムの機器は同伴者のプレーの妨げ、迷惑とならないように注意してください。)

10-a. 上記の機器を使用して得た情報の交換はアドバイスとはならない。

10-b. 使用する際にプレーを不当に遅延してはならない。

10-c. プレーヤーのプレーに影響する可能性のある他の条件

(傾斜、高低差、風速 など)を計測する機能が付属されている距離計測器を使用してはならない。

・ 携帯電話、スマートホンの使用は可。但し、傾斜を測定する機能は使用不可である。

・ 高低差表示機能を有する機器は高低差を表示しない設定での使用は可能である。

・ 傾斜を測定しないで高低差を標示する距離測定器は使用可。イーグルビジョン推奨。

※ このローカルルールにおいての違反した場合下記の通りとなる。

・ 初回の違反 : 1罰打

・ 2回目の違反 : 2罰打

・ 3回以上の違反があった場合は競技失格とする。

11. 特設ティ、ドロップエリアの使用について

特設ティの使用は各ゴルフ場のローカルルールで定める。

12. コールオン(後続組先打たせ)方式について

使用しない。

競技委員の決定が無い場合にコールオンを使用した場合は失格となる。

1 3. プレーにおける規則

【JGAゴルフ規則6-7】 プレーヤーは不当に遅れることなく、委員会がプレーのペースについてのガイドラインを決めているときはそれに従ってプレーしなければならない。

なお、1ホールのプレーを終えたあと次のティーインググラウンドからプレーするまでの間もプレーを不当に遅らせてはならない。

規則6-7の違反の罰は、ストロークプレーでは2打。その後更に同じ違反があった場合は競技失格。

＜当競技委員会のスロープレーに関するガイドライン＞

スロープレーとは前の組と15分以上離れているのに急ぐ気配がないプレーの事を指します。

あるホールで前の組と15分以上離れてしまって、マーシャルよりスロープレー警告が発生したが、次のホールで15分よりそれ以上遅れている場合はスロープレーと判断します。

また、前半9ホールズを前の組より15分以上遅れてホールアウトし、後半の9ホールズも前の組と15分以上遅れてホールアウトした組はスロープレーと判断します。

※通常、前の組との間隔は7分～8分です。

1 4. タイスコア時の決勝方法

タイスコアの場合はOUTスタート、INスタートに関わらず18番ホールからのカウントバックで勝敗を決める。

以上

平成27年11月25日
全日本企業対抗ゴルフトーナメント
競技委員会

ゴルフ場ローカル・ルールス
(大阪ゴルフクラブ)

- ① アウトオブバウンズの境界は白杭で標示する。修理地は青杭又は白線をもって標示する。ラテラル・ウォーターハザードの境界線は赤杭で標示する。
- ② 7・8・13・14番ホールに於いてティから第1打がOB又は紛失球の場合は前方特設ティにドロップを行いプレイング4を以てプレーしなければならない。
- ③ 電磁誘導カートの通路はその全幅に亘り舗装道路とみなす。球、又はスタンスが電磁誘導カートの通路にある場合は救済を受けなければならない。
- ④ スルーザグリーンではどこでも球が打球の勢いで地面に食い込んでいる時は、罰なしにその球を拾い上げその球を拭き元の位置にできるだけ近くにドロップすることができる。
- ⑤ バンカー内の流水跡に球が止まった場合は、罰なしに球を拾い上げそのバンカー内でホールに近づかず、しかも球のあった箇所にてできるだけ近い所にドロップすることができる。流水跡がスタンスの障害になっているだけでは救済は認めない。
- ⑥ プレーの進行上、乗用カート及び携行品については局外者とみなす。
- ⑦ アウト・インスタートのパッティンググリーン周辺での、アプローチショット練習を危険防止のため禁止する。競技参加者がこのルールに違反した場合は『エチケットの重大な違反』となり、競技委員会が状況を判断し、2打罰または競技失格の罰を科すことがある。
- ⑧ このローカルルールスの追加または訂正をする場合はクラブハウスに掲示し、掲示のあったその日からその効力を発生する。その他はJGAゴルフ規則による。

HOLE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out
PAR	4	4	4	3	5	3	4	4	5	36
LADIES	324	394	424	144	479	180	376	319	458	3,098
MEN	355	411	435	161	490	186	387	331	462	3,218
HOLE	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In
PAR	5	4	4	4	3	5	3	5	3	36
LADIES	457	285	380	322	125	470	161	456	132	2,783
MEN	484	314	380	387	125	480	176	471	156	2,973

女性：Front 男性：Regular 相当 ※コースコンディションにより変更される場合があります。

以上

平成27年11月25日
全日本企業対抗ゴルフトーナメント
競技委員会